幼稚園教諭一種免許状取得に係る科目【日本体育大学　児童スポーツ教育学部　（幼児教育保育コース）】

免許法に定められた内容				本学が課程認定を受けている内容					
第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項（平成28年改正法　令和3年省令改正）	最低修得単位数	児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科 幼児教育保育コース ・2023年度以降入学者適用カリキュラム	単位数	開講年次	★必修☆選択△自由	大学が定める免許取得に必要な単位数	※前年度末までに修得する履修要件科目「教育実習（幼稚園）」
第二欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	16	幼児と健康	2	2年次	★	2	
				幼児と人間関係	2	2年次	★	2	
				幼児と環境	2	2年次	★	2	
				幼児と言葉	2	2年次	★	2	
				幼児と表現	2	2年次	★	2	◎
		保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保育内容総論	2	1年次	★	2	
				保育内容の指導法Ⅰ	2	3年次	★	2	
				保育内容の指導法Ⅱ	2	3年次	★	2	
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	1年次	★	2	
				保育原理	2	1年次	★	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者論	2	1年次	★	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度と経営	2	3年次	★	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達と教育の心理学	2	1年次	★	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2	3年次	★	2	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		保育カリキュラム論	2	2年次	★	2	◎
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育の方法と技術（メディア教育を含む）	2	3年次	★	2	
		幼児理解の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		子どもの理解と援助　※(イ)	2	2年次	★	2	
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1	4年次	★	1	
				教育実習（幼稚園）	4	4年次	★	4	
		教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼）	2	4年次	★	2	
第六欄	大学が独自に設定する科目		14	児童健康教育論	2	1年次	★	2	
				児童の身体の仕組み	2	1年次	★	2	
				ことばと文化	2	1年次	★	2	
				幼児の運動遊びⅠ	1	1年次	★	1	◎
				幼児の運動遊びⅡ	1	2年次	★	1	
				音楽表現Ⅰ	1	1年次	★	1	
				食育論	2	2年次	★	2	
				子どもと人権	2	2年次	★	2	
				保育現場論（幼稚園・保育所）	2	2年次	★	2	◎
				子どもの表現Ⅰ	2	3年次	★	2	
				子ども家庭支援の心理学	2	3年次	★	2	
必要な単位数計			51	合計				60単位以上	

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	法学（日本国憲法）	2	1年次	★	2	
	体育	2	運動方法・水泳	1	1年次	★	1	
			児童スポーツ教育論	2	1年次	★	2	
	外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	1	2年次	★	1	
			英語コミュニケーションⅡ	1	2年次	★	1	
	情報機器の操作	2	情報処理（情報機器の操作を含む）	2	1年次	★	2	
必要な単位数計		8	合計				9	

※教育職員免許状取得に必要な本表で定める各科目の必選区分は、以下の記号で示すとおり。各学科等のカリキュラムにおける、卒業に必要とされる単位修得の必選区分とは異なるため注意すること。

★：必修科目・・・必ず単位を修得しなければならない科目　☆：選択科目・・・本表「大学が定める免許取得に必要な単位数」欄に定めるとおりに単位を修得しなければならない科目

△：自由科目・・・教育職員免許状の取得にあたって単位の修得は不要だが受講および単位の修得が推奨されている科目

※(イ)当該科目は1科目で法令上における複数の区分の内容を満たす認定を受けている。